

インターモト2008： 最上級のモーターサイクルイベント

会期：2008年10月8日（水）～12日（日）

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

バイカーの街ケルン 訪問者数20万人を突破
バイクファンや専門家の期待に応えたインターモト・ケルン
すべてのセグメントで革新 ハイテクと魅力的なデザイン
家族で参加する体験 子どもやティーンエイジャーも多数来場

ケルンで5日間、オートバイやスクーター関係者が胸を躍らせる - 2008年10月12日（日）に閉幕したインターモト・ケルンにおいて、このことが見事に証明されました。バイカーの街ケルンで初めて、110カ国から20万人を上回る訪問者数を記録しました。この最上級のモーターサイクルイベントは、アクション満載の見本市と市街でのムードあふれるハイライトでファンに興奮をもたらしました。「これは素晴らしい結果であり、多数の来場者と同様に、ケルンが国際的な販売業界から確実に受け入れられているという業界への明確なシグナルになりました」と、ケルンメッセのオリバー・P・クアト副社長は喜びを口にしました。ドイツ二輪車工業会（IVM）のライナー・ブレンディッケ専務理事も、「オートバイやスクーターに乗る人だけでなく、家族みんなで体験できる場を創出し、それによって新たなターゲット層にモーターサイクルの魅力を伝えるというアプローチが効を奏しました」とコメントしました。「これまで私達は、様々な手法によって一貫して若者にアピールしてきました。明らかに、インターモト・ケルンや市街で若い世代が多く見られるようになり、私達の取り組みの成果が表れています。また、今年もケルンで印象深いプレゼンテーションを行ってくださった出展者の皆様に感謝申し上げます。」

インターモト・ケルンでは、国内外の多くの業界関係者を含め、110カ国から20万人を超えるバイヤーやバイクファンがこのライン河畔の都市に集まりました。今回も業界関係者の来場が多く、全体の約30%を占めました。バイヤーサイドでは、外国からの来場者が約35%でした。これは、依然として、インターモト・ケルンが国内外の専門販売業界にとってきわめて重要なビジネス・プラットフォームであることを表しています。

5日間の開催期間中、出展者によるプレゼンテーション、ショー、モータースポーツなどのユニークなイベントが行われ、満場の展示ホールは「最高の雰囲気」に包まれました。結果的に、インターモト・ケルン2008は出展企業にとって価値あるものとなりました。また、多くのワールド・プレミアが発表され、国際的な販売業界だけでなく、楽しみにやってきた一般の来場者も魅了しました。会場では、魅力的なデザインからハイテクのものまで、パワー、安全性、快適性、操作性を向上させた新型モデルが披露されました。インターモト・ケルンのイノベーションセンターや屋外の電気二輪車コースでは、代替案としての駆動コンセプトが紹介され、電気二輪車の試乗が行われました。さらに、アクセサリーやバイクウェア、パーツのセグメントでも革新的な製品が数多く並びました。

インターモト・ケルン2008には36カ国から合計1,068社が出展し、そのうち372社がドイツ国内から、696社が外国からの参加で、外国からの出展者の割合は65%でした。ドイツ以外で出展者数をもっとも多い国は例年どおりイタリアで、それに台湾、中国、アメリカ、イギリス、パキスタン、オランダ、フランスが続きました。オートバイ・スクーター業界の「五大メーカー」であるBMW、ホンダ、カワサキ、スズキ、ヤマハを始め、著名な二輪車メーカーがすべてケルンに集いました。イタリアの有名メーカーとしては、ベネリ、ドゥカティ、ハスクバ

ーナ、マラゲーティ、モト・モリーニ、MV アグスタに加え、ピアジオ、ベスパ、アプリリア、モト・グッツィ、デルビの各ブランドをもつピアジオ・グループも参加しました。いずれのブランドでも、その華々しいプレゼンテーションに来場者は感心しきりの様子でした。

モーターサイクル体験ワールドでは、展示ホールでのスペクタクルな演出で魅了するだけでなく、屋外会場全体で来場者参加のアクティビティや、各二輪車セグメントの最新モデルの試乗が行われました。運転免許のないニューカマーのためのアクションコーナーも設けられました。子どもやティーンエイジャー向けのコースで本格的な「走行会」が行われ、子どもたちは専門家の指導のもと、コース上を走行するという初めて体験をしました。また、来場者は、アクションコーナーでの華やかなショーやレース、スタントを観覧し、インターモト・ケルンのレースコースも体験しました。

ドイツ二輪車工業会による二輪車初心者向け団体「VivaLaMopped (ビバラモップト)」のステージも大盛況でした。二輪免許の取得が無料になる特賞(5人分)を目指し、さらに当然のことながらお気に入りのミュージシャンに会うため、16歳から20歳までの若者2,500人以上が会場に集まりました。「VivaLaMopped (ビバラモップト)」のステージでは、Sistanova(ジスタノーバ)、Donots(ドゥノッツ)、Max Buskohl & Empty Trash(マックス・ブスコール&エンプティ・トラッシュ)、Happy(ハッピー)、Oomph(ウームフ)、Blumentopf(ブルーメントップフ)、Vanessa Petruo(パネッサ・ペトルオ)がライブを行いました。また、これらのミュージシャンによるサイン会やMarkus「Commander」Schultze(マルクス・「コマンダー」・シュルツェ)とのインタビューも行われました。

インターモト・ケルン 2008 の開幕式には、音楽界、芸能界、モータースポーツ界のバイク好きな著名人が顔をそろえました。ドラマ「Tatort(タートオルト)」シリーズの警部役Richy Müller(リッチー・ミュラー)を始め、音楽グループ「Fanta 4(ファンタジッシェン・フィアー)」のSmudo(スムドー)、ミュージシャンで元「No Angels(ノー・エンジェルズ)」のVanessa Petruo(パネッサ・ペトルオ)、スーパーバイク世界選手権における期待のドイツ人選手Max Neukirchner(マックス・ノイキルヒナー)、スタントの世界的第一人者Chris Pfeiffer(クリス・プファイファ)が登場しました。当然のことながら、Markus Schultze(マルクス・シュルツェ)との会話は自動二輪車にかかわることが中心となりました。

インターモト・ケルン 2008 では、初めてケルン・カスタム・チャンピオンシップが開催され、約1,000㎡の会場にチョッパー/クルーザー、ファイター、スポーツ、スクーターの各カテゴリーで最高のバイクが展示されました。愛車Twin Traxで優勝したChristoph Madaus(クリストフ・マダウス)さんには、賞金5,000ユーロに加え、アメリカのスタージスで開催されるカスタマイジング世界選手権に直接出場する権利(バイクの輸送料も込み)が贈呈されました。

また、Pastor Erich Faehling(パストア・エリッヒ・フェーリング)氏を中心とするモゴ・ハンブルクチームの協力のもと、すでに恒例となっているキリスト教式の「モーターサイクル礼拝」がインターモト・ケルンにあわせてケルン大聖堂で行われました。約4,000人のバイカー(2006年は3,000人)が礼拝に参加し、その後、バイクで隊列を組み、ケルン市街をメッセ会場に向かって行進しました。さらに、今回もハイライトとして、ケルン・アリーナでフリースタイル・モトクロス世界選手権「スズキ・ナイト・オブ・ザ・ジャンプス」が開催されました。

インターモト・ケルン 2008 速報データ

総展示面積：約120,000㎡

出展者数：36カ国 1,068社 (67%が外国からの出展)

来場者数

最終日の概算を含めると110ヵ国から約193,000人のバイヤーと来場者がインターモト・ケルンを訪れ、市街では、12,000人を超えるバイクファンがキリスト教式のモーターサイクル礼拝やケルン・アリーナでのスズキ・ナイト・オブ・ザ・ジャンプスなどのバイクイベントに参加しました。インターモト・ケルンへの来場者のうち、業界関係者は全体の約30%で、そのうちの約35%が外国からの来場でした。

次回、インターモト・ケルン2010の会期は2010年10月13日から17日までです。